

# 日向路の博物館

発行：宮崎県博物館等協議会事務局 <http://www1.bbiiq.jp/miyahakukyo/>



都城島津邸（都城島津邸提供）

## —宮博協通信第15号の発刊によせて—

宮崎県博物館等協議会会長 宮脇和寛

平成22年度は、口蹄疫の拡大に伴い博物館や美術館等の施設が休館したり、鳥インフルエンザの発生や新燃岳の噴火などで入館者が減少するなど、博物館等の施設を取り巻く状況が非常に厳しい年でありました。こうした状況下で、平成22年度の事業も皆様方のご協力とご支援により無事、終了することができ、心から感謝申し上げます。

総会と第1回研修会は、口蹄疫の拡大にともない平成23年9月15日に延期開催することになりました。当初講演を福岡県立美術館の川浪千鶴氏にお願いしておりましたが、講演が中止となり残念でした。第2回研修会では、新燃岳の噴火の影響を受けている都城地区で、今年度新規加盟された都城島津邸で開催することができました。降灰対策で大変な時に、開催を引き受けてくださいました関係者に感謝申し上げます。

当協議会では、加入施設の皆様のご意見を参考にしながら、研修の充実に努めて参りますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

# 平成22年度宮崎県博物館等協議会実施事業

## 1 平成22年度総会、第1回研修会

【日 時】平成22年9月15日（水）

【会 場】宮崎県総合博物館

【開会行事】

○会長あいさつ 宮崎県総合博物館長 宮脇和寛

【総 会】

○議 事

- ・「平成21年度事業報告について」
- ・「平成21年決算報告について」
- ・「平成22年度事業計画（案）について」
- ・「平成22年度収支予算（案）について」
- ・「役員改選について」
- ・「会計事務取扱規定について」

○報 告

- ・新規加盟館について：都城島津邸

○その他

- ・教育支援データベースについて
- ・カビ検査システム開発における実証試験について

【第1回研修会】

○視 察

特別展「古代カルタゴとローマ展」

## 2 平成22年度第2回研修会

【日 時】平成23年2月17日（木）

【会 場】都城島津邸、都城市立美術館

【開会行事】

○会長あいさつ 宮崎県総合博物館長 宮脇和寛

○開催施設代表あいさつ 都城島津邸館長 中島幸二

【内 容】

○研修会

事例発表

- ・発表1「都城島津邸の文化財活用事業と歴史観光ガイド」  
発表者：小岩屋芳郎氏（都城島津邸）
- ・発表2「都城島津邸の開館と課題」  
発表者：山下真一氏（都城島津邸）

○研修視察

- ・都城島津邸
- ・都城市立美術館

## 平成 22 年度 宮崎県博物館等協議会第 2 回研修会報告

宮崎県博物館等協議会第 2 回研修会が平成 23 年 2 月 17 日（木）に、都城市の都城島津邸および都城市立美術館で行われました。

### 【開会行事】

- 会長あいさつ 宮崎県総合博物館 宮脇和寛館長
- 会場施設代表者あいさつ 都城島津邸 中島幸二館長
- 事務局からの連絡
  - ・ホームページへの情報提供
  - ・担当者会の連絡等

### 【研修会】

- 事例発表
  - ・発表 1 「都城島津邸の文化財活用事業と歴史観光ガイド」  
発表者：小岩屋芳郎氏（都城島津邸）
  - ・発表 2 「都城島津邸の開館と課題」  
発表者：山下真一氏（都城島津邸）

都城島津邸は、平成 22 年度に開館しました。その開館までの経緯や開館後の取り組みについて、職員の方々に発表をしていただきました。

小岩屋芳郎氏の発表は、登録有形文化財に指定された島津邸の活用事業について、NPO との協働事業の事例紹介と歴史観光ガイドの育成と活動についての発表でした。NPO 法人都城歴史と文化のまちづくり会議と協働で実施している文化財活用事業について事例を発表していただきました。また解説をしている都城歴史観光ガイドの設立から、現在の活動状況について発表されました。NPO との協働事業やガイドボランティアなど、他の施設でも今後取り組まれることが増えていくと考えられ、非常に参考になりました。

山下真一氏の発表は、都城島津邸の開館までの経緯と、取り組んでいる事業の内容、課題についての発表でした。最初に都城島津家当主から文書類が寄贈されたことから、屋敷が都城市に寄贈されるまでの経緯や、都城市が施設整備にどのように取り組んできたのか発表していただきました。また、現在の活用事業について発表していただきました。開館までの苦労話や開館後の様々な事業の取り組みなど、スタッフの苦労が非常に分かりました。



山下真一氏の発表



歴史観光ボランティアによる解説

### ○研修視察

- ・島津伝承館及び都城島津邸  
解説：米澤英昭氏（都城島津邸）、  
歴史観光ボランティア
- ・都城市立美術館  
「2011年世界の旅（収蔵作品展）」  
解説：續優子氏（都城市立美術館）



島津伝承館常設展示の解説

## 《新規加盟館の紹介》

### 都城島津邸 都城市早鈴町 18 街区 5 号

都城島津邸は、4,664.8 坪の敷地内に、国の登録有形文化財である都城島津家住宅（本宅・剣道場・石蔵・御門・外蔵・社）と都城島津家史料を保存公開するための都城島津伝承館で構成される施設です。平成 22 年 3 月 27 日に開館しました。

南北朝時代（14 世紀の中頃）から都城の領主であった都城島津家は、明治 12 年（1879）以後この邸宅に居住しました。現在の建物は昭和 10 年（1935）の建築で、明治 12 年の一部建物の部材も活用し、またその間取りも活かしています。その後、昭和 28 年、昭和 47 年の改築を経て現在の形となりました。この都城島津家住宅では、当時の邸宅の様子をそのままに、旧領主、男爵であった都城島津家の暮らし振りや、昭和 48 年に宮崎県小林市において行われた全国植樹祭の際に昭和天皇が御宿泊されたときの様子を紹介しております。

また都城島津伝承館では、平成 16 年に都城島津家から寄贈された 1 万点に及ぶ史料を保存公開しています。史料には甲冑や火縄銃・馬具などの武具や、屏風・歴代肖像画などといった美術品、朝鮮国王が琉球国王にあてた国書などの貴重な古文書・古記録があります。江戸時代、都城約 4 万石の領主として存在した、大名級といえる都城島津家に伝わったこれらの史料は、美術工芸的にも高い価値をもっています。そして古文書類は、江戸期の行政組織や地理、生活等を示すもの、他では現存していない、本藩史料を書写したものなどが多く伝来しており、学術的にも高い評価を受けています。

これらの高い価値をもつ建物群や史料群は、「都城島津家によって伝わった都城島津家史料は、都城にあってこそ価値がある」という都城島津家 28 代当主島津久厚氏の御意向により、都城市へ譲られました。これを受けた都城市では、「文化財の継承と公開」「歴史学習・市民交流」「観光拠点」という 3 つの基本的な方針を掲げ、この貴重な市民の財産を後世へ伝えるとともに、展示等の活用を図っていくことにしています。

今後は、都城島津家史料の調査研究、その成果の刊行、史料の展示、教育普及、他の博物館等諸機関との連携などを行い、当地域の歴史・観光の拠点として成長していきたいと考えています。（文責：米澤英昭）



都城島津伝承館（都城島津邸提供）

観覧料 【本宅】小学生以上 100 円

【都城島津伝承館】

一般 210 円（150 円）、高校・大学生 150 円（100 円）、

小・中学生 100 円（50 円） ※（ ）内は 20 人以上の団体料金

開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

休館日 月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日） 年末年始

#### 【事務局からのお知らせ】

機関誌15号をお届けします。今年度、新規に加盟された館がありました。今回は、その加盟された都城島津邸の紹介記事を掲載しています。

事務局では、ホームページの内容の充実を図りたいと考えており、ホームページに掲載する新着情報を募集しています。

協議会の研修や活動について、ご意見などがありましたら事務局までご連絡ください。

〒880-0053 宮崎市神宮 2 丁目 4 - 4

宮崎県総合博物館内 宮崎県博物館等協議会事務局

TEL (0985) 24-2071 FAX (0985) 24-2199